

市史へんさん



小松市では、5月14日に、最高気温が30度を記録し、県内で今年初の真夏日となりました。真夏を思わせるような強い日差しの日もありました。6月は梅雨の季節。雨の日が多く、じめじめとした蒸し暑い日がいよいよ到来です。体調にはくれぐれもお気を付けてお過ごしください。

さて、今年度最初の市史講座の日程が決定しました。次期発刊予定の『小松市史 近世村方編』から、文書を紐解き、皆様にご紹介する予定です。多数のご参加をお待ちしております。

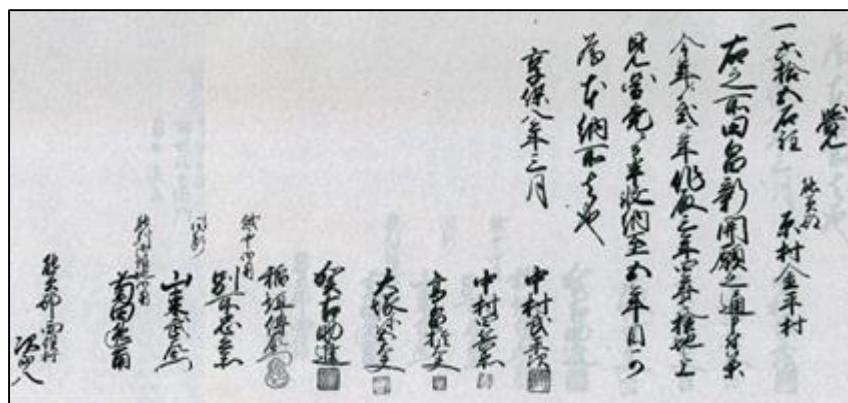
第63回 市史講座

近世能美郡の新田開発について

講師：見瀬 和雄氏（金沢学院大学文学部教授・小松市史編集委員）

〈内容〉

近世（江戸時代）の新田開発に関する文書に着目し、その文書の内容を読み解き、当地方の村の有様や農業の様子について探ります。



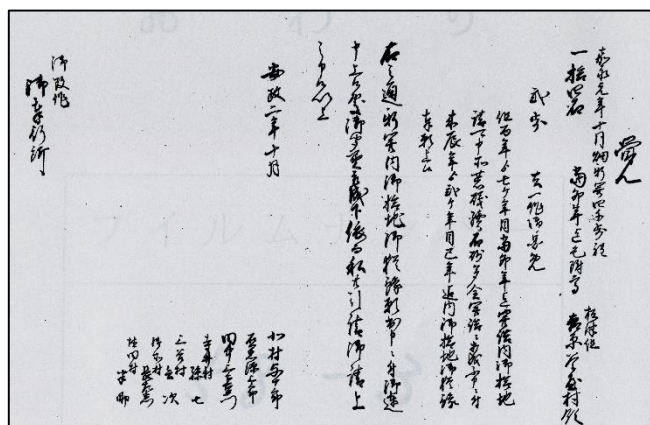
新開証文（石黒家文書）

日時：7月20日(日)

午後1時30分～3時30分

会場：小松市公会堂4階 大会議室

受講料：無料（事前予約不要）



新開願（石黒家文書）

『新修 小松市史 資料編 11 民俗』 「第2章」 紹介

第2章「ムラの暮らし」では、生活誌、なりわい、行事と人生儀礼に分け、農村での聞き取り調査を中心に、**流域別に紹介**しています。

ムラの生活を支える農業。その農作業は互いの協力が必要で、田植は代表的な村の共同作業でした。故にムラの秩序と統制を保つため、休日の日までムラで決められ、個人が勝手に取ることができませんでした。村民は信仰心が篤く、他所から嫁に来ると必ず神社に絵馬が奉納され、荒木田町、埴田町を始め、ムラの神社には女性名の絵馬が多く残っているのが特徴です。ムラの産物は、米作りばかりでなく、今江綿、小松絹、九谷焼、加賀茶など



奉納者が女性名の絵馬(埴田町)

を生産し、時にはマチへ行商にも出掛けました。蘭草栽培も盛んで、寒冷地の蘭草は表皮が厚く耐久性があり、小松表として一躍ブランドになりました。こうしたマチを支えるムラの姿が余すところなく紹介されています。



共同田植え作業(『串町史』より)

『民俗編』 販売中!!

12月まで特別価格(3,800円)にて、『小松市史 民俗編』を販売しております。お求めの方は、市史事務局まで、直接お越しください。



<事務局5月の活動状況>

- ・ 5月12日(月) 部会発足打合せ
- ・ 5月20日(火) 部会発足打合せ
- ・ 5月27日(火) 美術工芸作品調査
- ・ 5月31日(土) 近世村方部会・文書調査



<事務局6月の活動予定>

- ・ 6月4日(水) 美術作品調査
- ・ 6月9日(月) 美術工芸部会
- ・ 6月11日(水) 建築部会
- ・ 6月24日(火) 編さん・編集委員会

<6月のカレンダー>

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

は小松市史編纂事務局(図書館2階)が閉室しています。

市史編纂担当(小松市教育委員会生涯学習課)

小松市史編纂事務局(小松市立図書館2階)

・住所 〒923-8650 小松市小馬出町91

・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19

・TEL 0761(24)8274 ・FAX 0761(23)3563

・TEL 0761(24)5315 ・FAX 0761(22)9763

・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp

・URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>